神中しーぶん

平成27年
5月14日

神原中
不定期06号

ちょっとイイ話!!

ーある学級の給食準備での出来事ー

学校生活の中で、楽しみにしている一つに、学校給食があります。

食育の面から見れば、学校給食の果たしている役割は大きく、メニューについても栄養面のバランス等、専門家の栄養士が作成しています。

去る五月八日(金)、その給食の準備時間に事件が起こりました。なんとごはんをひっくり返してしまったのです。よりによって、メニューはカレーライスです。

担当の生徒もショックを受けたと思いますが、起こった事は仕方がありません。その情報を聞いた給食主任が、すぐに「各学級の配膳を調整して、〇年〇組へご飯を届けてください」との内容で、協力願いの放送をしました。

クラスによっては、自分たちの配膳の前に、協力できるご飯を確保し届けたとのことです。困っている仲間のために、自分たちの給食の量を減らして助けてあげる。各学級の協力により、放送があってから、ほんの三・四分後には無事解決したとのことです。

職員室にいた先生方も声を上げて、子ども達の仲間を思う優しい思いやりの心に感動していました。

今年度から、本校では「弁当の日」を複数回設定しました。子ども自らが自分の弁当を作る。そこから色々な事が見えてくるだろうと期待しています。

台風一過の後!!

去る12日(火)の台風６号接近により、学校・家庭を含め、生徒たちも多少なりとも混乱があったようです。

８時過ぎには暴風警報が解除されたものの、バスの運行は11時という報道も影響したと思われます。

基本的に警報が解除になった場合は、１時間後には授業を行う予定です。その時の状況にもよりますが、今回については登校した生徒に関しては、遅刻にはなっていません。

給食については、センターとしては、原則として７時前の解除なら「給食あり」、７時以降なら「給食なし」です。ただし，特別に給食センターの方に食材が確保されており、調理器具や人員が十分なら、簡易的な給食が可能な時もあるとの事です。

10時以降なら、家庭の方で食事を済ませてから登校し、授業に臨みます。解除が12時以降なら、引き続き臨時休校です。

今回は、保護者からの問合せ等が多く、一時的に学校から外部への連絡ができない状況が続きました。

学校説明会！

来る十七日(日)の授業参観日に、学校説明会も予定されています。

校長による学校経営方針の説明をはじめ、各教科についての評価・評定の出し方、さらには高等学校への推薦入試についてです。早い段階から知っておかなければならない情報がたくさんあります。三年になって、いざという時に困らないようにしたいものです。遅刻や欠席、身なり等も含め、学校生活における努力すべき点などが理解できるかと思います。

評価については、学校全体で統一した方法で行っています。参加する事によって、観点別評価（ＡＢＣ）と評定（５４３２１）の関連性も理解できるかと思います。テストの点数だけで、観点別評価や評定が決まるのでは無い事も具体例をあげて説明する予定です。

道徳の授業公開！

今回の日曜授業参観では、二校時には担任による道徳の授業が公開されます。心の教育が重要視される今、学校の方でも力を入れていきたいと考えています。

省エネへ協力を！

授業参観を兼ねながら校内を回っていると、教室移動のときに学級の出入りが全開の学級が複数ありました。

しーぶん五号で書いたように、クーラー使用で一番気をつけないといけないことは、「時間をかけて冷やした冷気を逃がさないこと」です。

自分の家で窓や玄関の出入口を開けながらクーラーをかけますか？公共の場でも同じように、自分の事として考えて欲しいです。ほんのちょっとした行いが省エネにつながります。

皆さんの協力をお願いします。

生徒会総会迫る！

来る二十二日(金)に、生徒会総会が予定されています。生徒会が変われば学校が変わるとまでも言われます。

生徒一人一人が、生徒会の一員です。特別な役員だけの組織ではありません。だからこそ、生徒会としての自治活動が活発になれば学校全体の雰囲気が変わるし、学校生活も楽しく有意義なものとなる事でしょう。「みんなの生徒会」です。

ボラ女子感謝!!

ここ一月以上前から、女子バスケットボールのメンバーが朝のボランティア活動を行っています。

正門から校舎へと向かう「せせらぎ通り」横の花壇の雑草取りや水かけ等を行っています。朝の貴重な時間にも関わらず、早めに登校し地道な作業を続けています。

一時的にやるのと違い、一月以上にもなると、かなりの忍耐力が必要となります。

お陰様で、咲き誇る花々も土をバックに映えて見えるようです。

本校では、昨年度からボランティアカードを生徒全員に配って、身近にできるボランティア経験を記録し、担任へ報告できるようにしています。しかしながら、活動としてはまだまだの状態なのが現実です。さあ、みんなで広げよう「ちょボラ」の輪。